

第18号  
2011.03

# たじま 夢つうしん

はばたく 但馬  
確かな未来へ



## 但馬の未来「あしたのふるさと」づくりへの挑戦が始まる

～但馬地域ビジョンはバージョン2へ！そして「祭典20周年」記念事業へ！～

私たちの「但馬」づくりの将来像である但馬地域ビジョン。策定から10年を経過し、今更なる進化を図ろうとしています。また、ビジョン実現の身近な取り組み目標として、祭典20周年記念事業（2014年）も動き始めました。今回の夢つうしんでは、ビジョンフォローアップ（素案）の概要と、祭典20周年記念事業基本構想（案）を特集します。

### 進化し続ける但馬地域ビジョン

但馬理想の都の祭典 (H6)  
但馬づくりの原点理念  
「あしたのふるさと但馬」

### 但馬地域ビジョン (H13)

21世紀但馬の将来像・方向、みちしるべ  
・自立、賑わい、癒し、慈しみの4つの郷  
「～活力・交流・循環・協働～コウノトリ翔る郷」  
※参画と協働による地域づくりのスタート



### シンボルプロジェクト

- ・祭典20周年記念事業 (H26)
- ・但馬力強化大作戦
- ・但馬夢シナリオ

### 但馬地域ビジョンVer.2 (H23秋改訂予定)

但馬づくりの理念の継承、進化、発展  
「あしたのふるさと但馬～コウノトリ翔る郷～」  
※ビジョンの再共有・再共感、ビジョンの「見える化」



第5期但馬夢テーブル委員会  
委員長 藤原 進之助

### 『あしたのふるさと但馬』に向けて、成功させよう！祭典20周年記念事業

平成6年、1年間にわたり四季を通じて繰り広げられた「但馬・理想の都の祭典」では、但馬を訪れた観光客は1300万人を超えた。多くの住民が地域の良さを再認識し、但馬人としての誇りと自信を持った。現在、但馬夢テーブル委員会では、「祭典20周年記念事業」の2014年開催に向けたキャンペーン活動を展開している。

余部新橋梁架替完成、山陰海岸が世界のジオパークへ、鉱山遺産を活かした「鉱石の道」など「はばたく但馬 確かな未来へ」への材料はことかかない。

但馬に一大ムーブメントを起こす成功の鍵は、あらためて但馬の良さを私たちが再認識し、自分たちに何ができるか。少しでも汗をかく住民が一人でも多く育つことが成功の鍵と言えよう。ぜひ、一緒に夢を共有し、汗をかき、但馬地域ビジョンで目指す「あしたのふるさと但馬」を創りあげましょう。





# 但馬地域ビジョン バージョン2.0

## 但馬づくりの原点

但馬空港開港(1994年)、但馬長寿の郷、但馬牧場公園等の大型プロジェクトの整備、「但馬理想都」構想の策定など新しい但馬誕生への機運の高まりを受け、但馬21万人による理想の但馬づくりの一大運動として「但馬理想の都の祭典」を開催する。(1994年)

【但馬理想の都の祭典がめざした但馬の姿・理念】

◎快適但馬と新しいライフスタイルの創造 ◎あしたのふるさと但馬

## 祭典がめざした但馬の姿・理念の継承

### 21世紀の但馬づくりの道しるべ

#### 【現行ビジョン】

ビジョンとは、従来の目的達成のための行政主導型の「計画」から、住民自らが地域の夢と実現に向けた知恵を結集して描く「地域像」です。  
但馬地域ビジョンは、但馬の祭典(H6)がめざした理念を引継ぎ、21世紀の但馬づくりの「道しるべ」として策定されました。

#### 4つの将来像(郷)

- 自立の郷 ~活力みなぎる たじま~
- 賑わいの郷~ゆしみあふれる たじま~
- 癒しの郷 ~潤いと安らぎに満ちた たじま~
- 慈しみの郷~生きる喜びを分かち合う たじま~

#### 目指すべき方向

~活力・交流・循環・協働~コウノトリ翔る郷~



### バージョンアップの趣旨

ビジョン策定後10年を経過することから、策定後の地域状況変化、新たな地域の動きなどを踏まえて但馬地域ビジョンのバージョンアップをおこなう。

バージョン2.0版  
(2011年秋策定予定)

### バージョン2.0版(素案)の概要

#### ●バージョンアップの趣旨

- 平成6年の祭典からビジョンに引き継がれた、但馬づくりの理念「あしたのふるさと但馬」の再共有・再共感と、時代変化に柔軟に対応した進化(バージョンアップ)を図る。

#### ●現行ビジョンの取り組み状況・評価

- 県民行動の拡大(ビジョン委員延べ500名、50のプログラム)
- コウノトリ野生復帰、山陰海岸ジオパーク、広域交通ネットワーク等の進展
- ビジョン実現状況は半数以上が不満(ビジョン委員アンケート)

#### ●但馬の課題、可能性への県民意見(夢会議)

- 但馬の空洞化(人、空間(土地)、村(コミュニティ)、誇り)

#### ●時代変化・新たな可能性への対応

- 人口減少・高齢化社会の到来  
(2035年予測 但馬13万人、高齢化率41%)
- 住民意識・価値観の多様化  
(地域に誇りを持ちながらも、希望を持ってない住民の増加、郡部でも進むコミュニティの希薄化、小規模集落の増加 09年116集落)
- 地域経済の収縮・閉塞感の増大  
(地域総生産額の減少、少ない地域雇用と若者の地元定着)

#### ●但馬の将来像と方向(将来展望へのシナリオ)

- 「人づくり」  
(継続的な交流人口の確保と、一度は出た人々の但馬復帰の増加) = 定住交流人口の増加
- 「産業づくり」  
(共生・環境型経済地域として新たな但馬型産業の創出) = 1人当たりGDPの確保、若者定着率の向上、観光入り込み客の増加
- 「誇りづくり」  
(但馬らしさ、但馬ならではの魅力・誇りを高める) = 地産池消の拡大
- 「安心づくり」  
(地域ぐるみで子育てや高齢者を見守る共助社会の進展) = 合計特殊出生率の向上、健康寿命の延伸

「あしたのふるさと但馬~コウノトリ翔る郷~」  
(誰もが誇りを持って住みたい、住み続けられる共生・交流地域)

#### ●シンボルプロジェクトの設定

- 1 但馬の祭典20周年(2014年)の開催
- 2 但馬地域力強化大作戦
- 3 但馬夢シナリオ

※フォローアップは、今後も頂いた意見を参考に但馬の将来像・方向をより明確にしていこうとしています。

2010年点検・見直し

2015年を想定(2030年を展望)

補完進化

### 2020年に向けたビジョン実現への新たな取り組み

#### ●シンボルプロジェクトの設定(概ね5年ごとに次の目標を設定)

- 1 「但馬の祭典20周年(2014年)」の実現
  - ビジョンの具現化、共有、共感により実感できるビジョンへ
- 2 但馬地域力強化大作戦
  - 但馬の強み、誇りを実感できる但馬力データベース
  - 但馬力を活かした但馬ならではの地域づくりの実現
- 3 但馬夢シナリオ
  - ビジョン実現に向けたシナリオ群の募集、データベース化

2020年を想定(2040年を展望)

あしたのふるさと但馬~コウノトリ翔る郷~ 実現へ



## 1 ビジョンとは何か、何故フォローアップを行うのか?

ビジョンは従来の目的達成のための行政主導型の「計画」ではなく、住民自らが地域の夢と、実現に向けた知恵を結集して描く「将来像の夢」です。但馬地域ビジョンは、1994年に開催された「但馬理想の都の祭典」で掲げた「あしたのふるさと但馬」の理念を引き継ぎ「～活力・交流・循環・協働～コウノトリ翔る郷」を目指すべき方向とした但馬づくりの「みちしるべ」として2001年に策定されました。

ビジョン策定から10年経過を迎え、時代潮流の変化により様々な地域課題が顕在化してきました。また、これまでの取り組みから、目指すべき地域の姿もより明確になってきました。そこで、あらためて将来像(ビジョン)を再確認し議論・見つけ直すことで、時代変化に柔軟に適応したビジョンへ進化させることとしました。また、フォローアップでは、**想定年次を2020年、展望年次を2040年**としています。

## 2 顕在化してきた地域の空洞化

但馬では、地域の空洞化(人、空間、村(コミュニティ)、誇りの空洞化)と、これに付随する様々な課題が生じてきました。ビジョンのフォローアップに当たっては、これらの空洞化を解消、再生させる取り組みの方向(例)も示しながら、「あしたのふるさと但馬」の将来像を描いていくこととしています。

### ①「人の空洞化」(人口減少と高齢化のトレンド)

- ・県土の1/4を占めながら人口は1/30
- ・S25:266,849人→H22国調:180,646人(△86,000人=現豊岡市人口)、H6祭典比較△3万人
- ・出生3.8人/日→死亡6.4人/日、転入11人/日→転出14人/日→人口の自然減・社会減進む。
- ・毎年概ね1%ずつ減少→将来推計2040年:12万人、2055年:10万人の大台割れも
- ・著しい高齢化の進展(2010年:30.3%→2040年:42.3%)

### ③「むら(集落・コミュニティ)の空洞化」

- ・「人」と「土地利用」の空洞化→集落衰退(小規模集落:116/267→約半数が但馬に集中)(高齢化率40%以上、50世帯未満)
- ・暮らしに関わる様々な場面で協働作業や相互扶助で支え合ってきた集落機能が維持困難に

### ②「土地(利用)の空洞化」

- ・人口減少・高齢化による農林業の担い手不足の深刻化、まちなかの賑わい喪失
- 耕作放棄地H17:(13%(全県7.8%)、1,252ha[全県1/4占])、空き家率H20:17.5%(10圏域中3位)
- 森林・里山の荒廃(生物多様性の崩壊、野生鳥獣被害や風倒木・山地災害拡大への影響)

### ④「誇りの空洞化」

- ・住み続ける意味や誇りを見失いつつある。
- (県民意向調査)・今住んでいる地域で住み続けたい(68.5%:10圏域中1位)
- ・若者が希望を有する地域だと思う(3.7%:10圏域中9位)

## 3 但馬の将来像と方向(将来展望)

但馬の将来像を描くに当たっては、但馬づくりの理念である「あしたのふるさと但馬」が祭典からビジョンへ、そして今後の但馬づくりへと受け継がれていくとの再確認のもと、より多くの人々との共有・共感が更に広がり、地域の住民が主役となった実践活動(夢シナリオ)を盛り込むとともに、**日々成長、進化するビジョン**とするため、常に活動の見直しができるようにしていきます。また、ビジョンの取り組み状況の「見える化」を図るための「ものさし」として「**目指そう指標**」を設定します。

目指す方向	「あしたのふるさと但馬～コウノトリ翔る郷～」 ※「あしたのふるさと」とは、そこに住む人々だけではなく、訪れる人々と共に安らぎや感動、共に生きる喜びを分かち合える「交流・共生」の地域			
4つの郷	自立の郷	賑わいの郷	癒しの郷	慈しみの郷
行動目標	「人づくり」 (但馬の人・暮らしを育む)	「産業づくり」 (但馬の産業・しごとを革新する)	「誇りづくり」 (但馬の魅力・誇りを伸ばす)	「安心づくり」 (但馬の安全・安心を守る)
取り組みの方向(例)	・中間支援組織づくり ・地域プロデューサー育成	・第6次産業化 ・耕作放棄地等の活用 ・起業支援 ・環境創造型産業	・地域力指標づくり ・住民ガイド育成 ・地産地消の強化	・地域コミュニティの再生 ・婚活
目指そう指標(例)	定住交流人口 30万人	・地域内就業率向上(H17:95.4%) ・観光入り込み客1千万人以上(H21:931万人) ・1人あたりGDP向上(H20:3,098千円)	・地産地消率向上 ・エネルギー自給率向上(H20:6.03%) ・安心ブランド(品目数、栽培面積)拡大(H21:品目220、面積776ha)	・合計特殊出生率向上(H17:1.69%) ・健康寿命、百歳長寿率向上(H22:健康男3位、女2位、百寿38.9%、1位)

## 4 夢シナリオ

4つの郷の実現に向けた、地域、住民主体の具体的な取り組みを募集し、ビジョンの実現に向けた取り組み例として、フォローアップ版に盛り込むとともに、シンボルプロジェクトとして位置づける但馬の祭典20周年記念事業において、取り組みの成果、進捗状況等を情報発信する機会を設ける。

## 5 シンボルプロジェクト

### ①「但馬の祭典20周年(2014年)記念事業」

祭典で掲げ、ビジョンに引き継がれた但馬づくりの理念「あしたのふるさと但馬」の再共有と再確認の機会とし、今後の但馬づくりに必要な但馬力を向上させる機会とします。

### ②但馬地域力強化大作戦

但馬の強み、誇りを実感できる但馬力の掘り起こし、データベース化、指標化

### ③但馬夢シナリオ

地域の様々な夢の実現に向けたシナリオ募集、データベース化で夢の共有・共感を広げる。

## 但馬地域づくり活動応援事業 助成団体を募集します

地域団体の活性化や魅力ある但馬づくりに向け住民の方や地域団体が連携を図りながら主体的に取り組む活動に対し経費の一部を助成します。

【対象団体】但馬地域を活動基盤とする地域団体等を対象とします。

【対象事業】あしたのふるさと但馬の創生をめざし、住民が企画提案する「但馬・理想の都の祭」20周年記念事業の趣旨に沿った事業を対象とします。

【応募方法】申請用紙に必要事項を確認の上、こころ豊かな美しい但馬推進会議事務局へご持参ください。  
※申請を希望される方はこころ豊かな美しい但馬推進会議事務局へ資料請求してください。

【応募期間】平成23年4月18日(月)～平成23年5月20日(金)

【応募先・お問い合わせ】  
こころ豊かな美しい但馬推進会議事務局  
(但馬県民局県民協働室県民運動課内)  
〒668-0025 豊岡市幸町7-11  
TEL: (0796)26-3647 FAX: (0796)24-7074

はばたけ 但馬  
確かな未来へ



# “夢シナリオ”「但馬・理想の都の祭典」20周年記念事業の基本構想の概要

## ～わたしたちの“夢シナリオ”の実現を目指して～

平成6年に通年開催した「但馬・理想の都の祭典」は、躍動する但馬を内外にアピールし、地域に自信と誇りがみなぎる契機となりました。

祭典から17年が経過した今、人口減少、少子高齢化など、厳しい地域情勢や薄れつつある祭典機運を背景に、祭典20周年にあたる平成26年を但馬再生の節目として、新たな可能性に挑戦する記念事業の企画・準備を進めています。

このため、平成22年度から推進組織を立ち上げ、皆さんとともに缶バッジキャンペーンを各地のイベントで展開したほか、「但馬まるごと感動市」をシンボルプロジェクトに位置付け、リニューアル開催するなど、キャンペーン事業をスタートさせました。

但馬の未来を拓いていくため、自立と誇り、連携をキーワードに、「ないものねだり」ではなく「あるもの探し」の姿勢で、但馬オンリーワンの地域像や価値観を創出し、次代につなぐ、『但馬2.0』への確かな展望を内外に発信・提案します。

但馬の住民が主人公となるこのプロジェクトには、皆さんの熱い思いと行動力が欠かせません。さあ「あしたのふるさと但馬」めざし、果敢に挑戦していきましょう。



### 20周年記念事業の基本方向

- 1 但馬全域をフィールドに、年間を通じた開催。** 期間中開催されるプロジェクト・イベント群を効果的に打ち出し、但馬ツーリズム拡大に繋がる「但馬ブランド」構築と**総合的な地域イメージ戦略の展開。**
- 但馬最大の集客力を誇る「**但馬まるごと感動市**」を**住民プロデュース**で運営するなど、全面的なリニューアルを図った上で、**シンボルイベントとして展開。**
- 記念となるハード整備も視野に入れ、中核施設ごとのテーマイベントを企画。** (コウトリ自然博物館、バースセンター、大屋アート村、余部空の駅、ジオパーク館 等)
- 「**夢シナリオ**」による多彩な**住民提案イベントの草の根展開とネットワーク化。** (新たに再編整理する「地域づくり活動応援事業」等により企画・活動経費等を助成)
- H6祭典で芽生えた地域イベントをブラッシュアップ**し、「但馬の誇り」をテーマとした企画イベントを並行開催。(但馬空港フェスティバル、おおやフォークアート展、食文化祭り、加藤文太郎の再評価 等)
- 記念事業のグローバル展開をめざすため、**国際的プロジェクト関連会議等の集中誘致を推進。** (第5回コウトリ未来・国際かいぎ、アジア・ジオパーク・ネットワーク会議、ラムサール条約湿地登録 等)
- 但馬の魅力を広く内外に発信するため、**記念事業の情報発信ツールの目玉として、映画「但馬組曲(仮称)」や新たな但馬ミュージカルの制作企画。**
- 自然、環境、文化、歴史等の普遍の価値に対する人々の関心の高まりを背景に、巨木、古民家など、成熟社会においても長年にわたり地域の個性、伝統を守ってきた「**地方の価値**」(=**新しいライフスタイルの創造**)を発信。
- 空き店舗を活用した若者起業支援のための「**次世代チャレンジショップ**」、集落間交流を支援する「**但馬元気村サミット**」など、**地域の課題解決を図るイベント展開。**
- 一連の記念事業のフィナーレに**総括シンポを企画。**改訂ビジョンと連動した「**あしたのふるさと**」に**ふさわしい指標化の挑戦**など、「**但馬宣言**」を採択。  
(めざそう指標:定住人口、地域内就業率、食料自給力、自然エネルギー自給力 等)

### 祭典イメージ

- 祭典の理念「あしたのふるさと但馬」を継承発展(日本一のコミュニティをめざす)
- 「感動市(拡大版)」をメインに、但馬全域・年間を通じたイベント展開。
- 一連のイベント成果をビジョン実現に向けた但馬力として持続させるため総括シンポを開催し、新宣言を採択。

### 基本理念

- 1 但馬の将来像の再共有、確認、評価、**実践**
- 2 あしたの但馬を創り、担う人々(但馬人+交流人)の発掘、育成
- 3 但馬の可能性を支える但馬力の向上

### 目 標

日本一のコミュニティの実現

### テ ー マ

はばたく但馬 確かな未来へ  
～但馬2.0(バージョン2)への飛翔

### 名 称

但馬まるごと感動祭

### 会 期

平成26年4月～平成27年3月

### 会 場

但馬全域

「但馬2.0」  
(バージョン2)  
とは

#### ●但馬1.0(バージョン1)

人、土地、ムラ、誇りという、空洞化の多面的な進行。戦後、一貫して過疎化と高齢化が同時進行した中山間地域における課題克服に向けた模索の道程。

#### ●但馬2.0への道筋

多くの中山間地域が抱える空洞化を住民が解消、再生させる取組みの中で展望を開く。

#### 参考 ガバメント2.0

提唱:ティム・オライリー

ガバメント1.0: 政府が行政サービスを自己完結的に責任をもって提供。

ガバメント2.0: 行政は基本的な情報を提供し、具体的なサービスは民間を中心とした多くの組織、個人がネットワークで連携して実現。



# THE「但馬力(たじまぢから)」を考える あなたは、但馬をどれだけ知っていますか? 人に語れますか?

但馬の主な地域資源や各種統計から但馬を再確認し、但馬の誇り、強みとなりうる新たな但馬力を一緒に考えてみましょう。

こんなモノがあったのか!他にもこんなモノがあるよ!こんな見方をすれば面白いかも!など自由な発想で但馬を再発見・再発信してみましょう。様々な地域資源データをもとに、但馬らしさを表し、誰もが判りやすく活用出来るスタイルで提供することで、これぞ「但馬力」として内外に発信し、地域づくりの判りやすい指標としていきましょう。

(データ参考:県統計課資料、但馬辞典(但馬情報特急)、但馬の大百科事典(たんしん地域振興基金)等)

## 1 | 但馬の生活を知る (統計データ等から見る但馬)

生活に密着したデータから、但馬の姿を探ってみましょう。

項目	数値	判りやすいデータ表現(例)
出生者数	1,392人(H21)	但馬では、毎日4人の赤ちゃんが生まれています。(3.8人/日) 
合計特殊出生率	1.69人(H17)	但馬で1人の女性が一生に生む子供は1.69人です。(県下で1位、県:1.25人、全国:1.26人)
死亡者数	2,370人(H21)	但馬では、毎日6人が亡くなっています。(6.4人/日)
婚姻件数	794件(H20)	但馬では、毎日約2組が結婚しています。(2.2組/日) 
未婚者率	男24.9% 女15.7% (H17)	但馬では、男性の4人に1人が未婚です。但馬では、女性の6人に1人が未婚です。
社会増、社会減	社会増 4,166人(H21) 社会減 5,267人(H21)	但馬では、毎日11人が但馬外から入ってきますが、14人が但馬外に出ていってしまいます。
交通事故発生件数	946件(H21)	但馬では、毎日3件の交通事故が発生しています。(2.6件/日)
火災発生件数	92件(H20)	但馬では、4日に1件の火災が発生しています。(0.3件/日)
刑法犯認知件数	1,627件(H21)	但馬では、毎日5件の犯罪が発生しています。(4.5件/日)
救急出場件数	7,473件(H20)	但馬では、毎日20件の救急出動があります。(20件/日)
新設住宅着工戸数	734件(H20)	但馬では、毎日2軒の新築住宅が建っています。(2戸/日) 
住宅平均床面積(1人あたり)	154㎡(H17)	但馬の住宅では、一人当たり10畳の広さで生活しています。(※1.54㎡=1畳換算 ※総床面積/世帯人数)
空き屋率	17.1%(H20)	但馬の住宅の6軒に1軒が空き屋となっています。
耕作放棄地	1,393ha(H22)	但馬の農地の20%が耕作放棄地となっています。
新規求職者数 新規求人者数	1,153人/月平均(H21) 933人/月平均(H21)	但馬では、毎日37人(37.2人/日)の方が職を求め、30人(30人/日)の働く人を求めています。 
鉄道乗車人数	292.1万人(H20)	但馬では、毎日8千人の人が鉄道を利用しています。(8,003人/日)
但馬空港搭乗者数	27,748人(H21)	但馬では、毎日76人の人が飛行機を利用しています。(76人/日)
自動車保有数	144,443台(H21)	但馬では、1世帯で2台以上の車を持っています。(2.3台/世帯 ※世帯数63,755世帯) 
観光入り込み客数	9,307千人(H21)	但馬では、毎日ほぼ養父市の人口に近い観光客がやってきます。(25,499人/日、※養父市人口26.6千人)
域内総生産額(GDP)	566,065百万円(H20)	但馬では、一人当たりGDPは3,098千円となっています。(県内地域別順位は県内6位)
平均寿命と健康寿命(平均寿命—要介護年齢)	男性78.7歳(76.6)(H17) 女性86.2歳(81.6)(H17) ※平均寿命(健康寿命)	介護を要しない健康で自立した生活の期間が、男性で県下3位、女性は2位となっています。 
百歳長寿率(65歳以上1万人あたりの100歳以上)	38.9人(H22)	但馬は、高齢者の中でも100歳以上の長寿高齢者が県下1位(県平均は21.4人)

## 2 | 但馬の日本一等を知る

### 但馬にある日本一

多々良木ダム、黒川ダム	朝来市	日本一の揚水発電所
神子畑鉄橋	朝来市	日本最古の鉄橋
名草神社	養父市	日本一高い場所にある三重の塔
但馬大仏・長楽寺	香美町	木彫り金箔座像として日本一大きい大仏
余部鉄橋(旧)	香美町	日本一長いトレスル式鉄橋 (※2010年8月コンクリート橋に架け替え)
余部岬灯台	香美町	光達距離・光点高さ日本一
湯村温泉	新温泉町	源泉温度の高さ日本一、日本一長い足湯

### 但馬にある日本唯一

コウノトリの郷公園・文化館	豊岡市	日本最後のコウノトリ生息地、野生復帰
---------------	-----	--------------------

### 但馬にある兵庫一

水ノ山	養父市	県内一高い山
天滝	養父市	県内一の落差
樽見の大桜	養父市	県内一の桜の老木

### 但馬にある日本百選

猿尾滝	香美町	日本の滝百選
天滝	養父市	〃
但馬海岸の夕日・夕焼け	香美町	日本の夕日百選
西ヶ岡、和佐部の棚田	香美町	日本の棚田百選
うへ山、貫田の棚田	香美町	〃

### 但馬にあるご当地富士

三開山	豊岡市	但馬富士
-----	-----	------

### 但馬にある日本地質百選

玄武洞	豊岡市	
生野鉱山・銀山	朝来市	

### 但馬にある日本秘境百選(「JTB雑誌「旅」)

瀬川溪谷	香美町	
------	-----	--

### 但馬にある日本百選

兔野高原	香美町	高原のレンゲツツジ
------	-----	-----------

### 但馬にある快水浴場百選(環境庁)

竹野浜海水浴場	豊岡市	※日本の百選にも選定されている
---------	-----	-----------------

### 但馬にある日本の白砂青松百選

浜坂県民サンビーチ	新温泉町	
-----------	------	--

### 但馬にある平成の名水百選

かつらの千年水	香美町	
---------	-----	--

### 但馬にある森林浴の森百選

天滝溪谷	養父市	
------	-----	--

### 但馬にある日本百名湯・名湯百選

城崎温泉	豊岡市	(※百名湯のみ)
湯村温泉	新温泉町	(※名湯百選のみ)
浜坂温泉・七釜温泉	新温泉町	(※名湯百選のみ)

### 但馬にある日本百名城

竹田城	朝来市	(国指定史跡)
-----	-----	---------

### 但馬にある公共建築百選

植村直己冒険館	豊岡市	
---------	-----	--

### 県下の地域別健康寿命ランキング(県発表、2009年)

男性 3位(76.8歳)、女性 2位(81.6歳)

### 円墳サイズ日本4位

朝来市ちやすり山古墳

### 日本風景街道 県内初登録(国土交通省)

但馬漁り火ライン(豊岡市気比~新温泉町居組の67km)  
※「絶景を走る日本百名道」(2005年、大泉書店発行、須藤英一著)にも選定  
まっふるベストドライブコースにも掲載されている。

### 関西のお年寄り向けサービスが充実した街ランキング(リクルート社「SUUMO」調べ)

2位 豊岡市、6位 朝来市 (10位以内に但馬から2市がランクイン)



「こうのとりの郷」



「和佐部の棚田」



「玄武洞」



「竹田城跡」

自立の郷

小規模集落元気村プロジェクト

「但馬元気村カタログ」発行

兵庫県の小規模集落元気作戦の一環として、夢テーブル委員会の中にグループを発足させてからはや2年が経過しました。このグループは、名前の如くメンバーも5人と本当に小規模の集まりでした。しかしながら、各方面のご協力、ご支援により2回の「但馬元気村サミット」を開催。但馬の小集落の抱える悩みや思いをお聞きし、多くの方々に現状を知っていただいたこと、また集落の今後の進む方向や方策がお互いに少しでも確認できたことは、グループとしても大きな意義があったと自負しています。

さらにこれらの集大成と言うべき、「但馬元気村カタログ」を発行しました。但馬の小集落の現状と取り組みについて記しています。今後の集落相互の交流や活動、また都市との交流の参考になればと思っています。



リーダー [森 弘之]

夢ある田舎暮らし応援隊

田舎暮らし応援隊のキーワードは地域の総合力と人の情熱

スタートして2年間、具体的、実践的な部分まで突っ込むことができなかったことは残念でした。田舎暮らし応援隊のジャンルが広すぎることもありましよう。

残された1年は、この広い分野に部分的にも入ってゆきたいと思います。この仕事が成功するかどうかは、地域の総合力(地域の魅力、人的資源)と人の情熱にかかっています。そういう意味では、但馬は国立公園、ジオパーク、コウノトリ、温泉、城下町、海水浴場、スキー場等々と環境は抜群です。それに当グループメンバーの情熱を加えれば鬼に金棒です。



リーダー [増田 征夫]

次世代ネット

起業興しの機会になれば…チャレンジショップ開催!

次世代ネットグループでは、ものづくりをする若者をバックアップしようと、チャレンジショップ「TSUBOMI本舗」を2回開催しました。手探りからのスタートでしたが、当初の想像をはるかに超えた反響で、乗客数はのべ3000人超にもなりました。

出店者さん同士、出店者とお客さんといった、新たな繋がりが増え、それぞれの活動が広がっていると話も聞き、大変うれしく思っています。

また、TSUBOMI本舗では、めっきり人が少なくなってしまう街角に大勢の人が行きかう姿は、感涙ものだった、と近隣の方のお言葉もいただきました。

あと1年の任期となり、次はショップとは違う切り口での若者の発表の場を設け、応援をしようと計画しています。



リーダー [花房 靖裕]

賑わいの郷

但馬の民家探訪

22年度活動と今後の展開について

平成22年度は大屋の養蚕農家、香美町の旧家探訪、出石伝建地区の研修会と見学会、養父市の立誠舎改修工事竣工報告会と見学会参加などの活動を重ね、古民家について知識の習得とその価値を実感した。出石伝建地区ではヘリテージマネージャーの皆様が大きな力となり、修復保存を進めておられる状況を見て、私たちのグループもただ探訪して「すごいな、立派だな」から視点を変え、それを守るための棟主のご苦勞や問題点を知り守り続けて頂く為の提案とか、多くみられる空古民家の有効活用など他のグループの皆様とも話し合い、私たちなりのアイデアが出せるようステップアップしたいと考えている。



サブリーダー [大林 守]

但馬の自慢話発信隊

今後の活動

早いもので2年が終わり、今期に限りあと1年延長といううれしい?ご褒美をいただきました。

1年目は、山陰海岸ジオパークを盛り上げるべく「たじまジオ写真展～見ようよ!知ろうよ!応援しようよ!山陰海岸ジオパーク～」を開催しました。玄さんも応援に駆けつけ、たくさんの方で賑わいました。そのジオも昨年は世界認定され、うれしい限りです。

さて2年目として今後の活動としまして、数ある但馬の自慢(財産)の中からお菓子の神様「田道間守命(たじまのみこと)」に着目し、「日本のお菓子のふるさと但馬・豊岡」をどんどん発信していきたいです。お菓子のまち但馬・豊岡のイメージキャラクター「たちばなくん」の缶バッジも完成しました。これからは、はばたく但馬、確かな未来のために、県民目線で但馬を盛り上げていきたいと考えます。



リーダー [浮田 喜弘]

癒しの郷

但馬パープルネット

一人一芸のパワーで楽しもう!

明日へ羽ばたく但馬、そして確かな未来の地域づくりの夢の実現に向けて、歌や体操、折り紙など、メンバーそれぞれの特技を生かして、地域コミュニティづくりを応援しています。

メンバーは、11名ですが、なかなか全員がそろうことは難しいです。それでもメンバーのできる範囲で計画・実施にすることをモットーにはりきっています。

活動では、地域の人々の明日への活力になる但馬のお年寄りの元気づけや但馬のお年寄りの元気づけや但馬の子どもたちへの将来に向けての夢づくりを目標にした催しをする。

第1回目はお年寄りを中心にした「歌祭り」を香美長香住区佐津公民館で開催しました。当日は30名あまりの方々と懐かしい夏や秋の季節の歌をみんなで合唱したり、音楽に合わせて健康体操をしたり、折り紙を折ったりして笑いの中で楽しく交流をしました。

第2回目は、日高町八代地区のお年寄りから子どもまで50人の地区の皆さんと「歌と折り紙の会」を催しました。

第3回目は、養父市男女共同参画センター(養父市八鹿町)で親子とシルバーの方々と一緒に春の歌にあわせて折り紙を折ったり、今おなじみの「てっぱん」ダンスを満喫しました。それに、関宮の歌う会の皆さんと共演、また、子育て支援のみなさんや地域コミュニティづくりのお手伝いをしてきました。

これからは、今の活動を推し進めるとともに、但馬のミュージシャンの活動ネットワークをもと、大きな夢を描きながら計画しています。



リーダー [太田 吉春]

但馬の食再発見

「食」で但馬を知るいい機会をありがとう!

夢テーブル委員として、但馬の「食」再発見グループのメンバーとしてこの2年間「食のスゴロク&カレンダー」製作、「うちげえのごっつおう」イベントの開催、合間合間の宴会など、たくさんの経験をさせていただきました。

これらを振り返るとメンバーの皆さんとの交流や活動を通し「食」の観点から但馬を知り、「食」の大切さを学び、たまには美味しいものをみなでつまみ、そして何も無いところから1つの事業を立ち上げ実現させることの大変さ、楽しさを体感することができました。知識も舌もちょっぴり肥え私自身も成長できたかなと思います。

任期も1年延長となり、グループメンバーのみなさんとまた活動できることを嬉しく思っています。

残り1年はこれまでの食グループ活動のまとめとして、また、次につながるものを企画、実現できたらと思います。



リーダー [上根 千佳]

森・川・海の循環

2年間の振り返りとこれからやりたいこと

過ぎてしまえば、あつと言う間の2年間でもあり、なかなかうまくいなくて、長かった2年間でもあったような気がします。最初の1年間は意見の集約と調査期間と定め、いろいろな意見を聞きながら次年度への取り組みを考え、次の2年目から実活動へ移る予定でしたが、昨年初め、個人的な都合によりスリーピング。皆さんの励ましと、メンバーの方々の協力により、再スタートしたのが昨年夏過ぎでした。

事務局の皆さんのアドバイスを頂き、「海と川と山」へと足を運んで、但馬の環境の実態を把握することだと心に刻み、活動を行ってきました。

海では、海岸に打ち寄せられた「ごみ」の調査。ハンゲル文字のゴミが多かったこと。川では、出石・谷山川の「生き物調査」を行いました。

山では、晩秋の日高・阿瀬溪谷羽尻の廃村に行き、幻の滝と呼ばれている蘇武滝を訪ねました。

それぞれが目標半ばでしたが、あと1年間活動期間の延長。これからの1年間は、ゴミが打ち寄せてくる海の実態調査を、川では地域別の生き物調査を行い、比較していきたい。そして山では、苦しかったけど、楽しかった「山登り」を楽しみながらの環境調査を行いたいと思います。



リーダー [杉山 隆一]

ゆめ防災福祉

活動と2年目の抱負

但馬地域の少子高齢化の波は、人口減少及び地域経済の圧迫へ大きな影響を及ぼしていると思われます。このような状況下においてこそ、災害時における要援護者対策は必須の条件とも言えます。

当グループ発足当初の活動目標は、施設・自治体に頼ることなく、地域で対処することを遠からず考えなければならない。それに対応出来る地域対策を見出すことです。昨年度より、その実現化を目標に取り組んできました。

今年度は、年度当初に活動方針を定め毎月会議を1~2回開催し、3月6日には「自主防災福祉講演会」を長寿の郷、郷ホールにて開催することができました。

微力の私たちですが、約200人という参集者に要援護者対策は必須のものとして改めて確信しました。委員の任期が1年延長になりましたので、今後も下記の取り組みを進めていきたいとグループ全員で確認しました。

- 1.『地区防災(災害弱者対応)に関するアンケート』結果報告書作成
- 2.避難グッズ、家具の固定化など家庭で出来ることの普及活動



リーダー [小島 義明]

但馬地域夢会議に参加の高校生からの声

「夢会議を終えて」

兵庫県立豊岡高等学校 2年生 水口 莉沙子

私は初め、地元で開かれている夢会議の存在を知りませんでした。学校で先生に教えていただいたことで興味を持ち、参加してみることにしました。

自分と違う年代の人や、さまざまな業種の方々との話し合いを通して、私の住む町が抱えている問題の重大さ、地元を思う人々の気持ち、そしてそれは私たち若者世代にも大きく関わっているということを知りました。

また、今の十代は自分の町のことを知らなすぎると思います。地元の特徴を聞かなくても分からないという人も多いのではないでしょうか。私は、夢会議を通して地元のすばらしいところをたくさん知りました。もっとたくさんの人にそんなところを知ってほしいし、知って自分の町に誇りを持ってほしいと思います。



「夢会議に参加して」

兵庫県立豊岡高等学校 2年生 西口 杏奈

私は夢会議の存在をまったく知らなかったんですが、学校からの紹介で興味を持ったので参加しました。

但馬の未来について考えることなんて今まで一度もしたことなかったので、この会議に参加することは私にとってもとてもよい体験になりました。この会議を通して今現在但馬が抱える問題について知ることができてよかったです。

今の但馬の状況を知っている若者は非常に少ないと思います。今回の会議で若い人の参加者は数えるほどでした。但馬の未来を考える上で若い人の協力は欠かせないと思います。そして私たち若い世代が次の但馬を担えるよう努力していきたいです。

次世代チャレンジショップTSUBOMI本舗に参加して

「TSUBOMI本舗に参加して」

田中 貴代美

「TSUBOMI本舗」を知ったのは、第1回メ切後のことでした。

当日、但馬で素敵なお仕事に携わる若い方々の存在を知り、作品たちを手にワクワク興奮しながらTSUBOMIワールドを堪能しました。そして今回念願叶い「B会場ショップオーナー型(独立決済)」での参加です。

参加したものの、とんぼ玉と出会ってまだ2年、この世界ではほんの駆出し、我ながら怖いもの知らずの性格に感心します。出展が決まり毎日毎日試行錯誤の製作準備。もちろん行動が伴わず頭の中は渦巻き状態、あつという間に当日を迎え「何しとったん私?」と反省モードで流れ込んだ感じでした。会場では、より進化した先輩方の作品のクオリティーの高さや作品にあった見せ方、接客の仕方そして人との繋がり大切さを学び初心者にはあまりに眩し過ぎる2日間でした。貴重な経験を頂きありがとうございました。



「TSUBOMI本舗に出店して」

森田 直美

「TSUBOMI本舗」を知ったのは第1回目の出展者募集の案内を見た時でした。手作り仲間と「どうする〜?」と言いつつも、日々の忙しさから「今回は見送り」の結果を出して、いざその「TSUBOMI本舗」の開催を見に行った時の衝撃!

「この豊岡でこの空間?」素敵なお作品の数々に心動かされたのは言うまでもありません!そして第2回目の開催を知った時は、仲間達と早速の申し込み。それからの日々は瞬間。相談に準備にと仲間とのイベント参加は予想以上の大変さとそれ以上の充実感を味わうことができました。但馬だから...田舎だから...と言い訳することなく、但馬・豊岡の良さを知るメンバーが集まった結果、イベントが成功したのは言うまでもありません。主催者・スタッフ・出店者・共同出店のさくら文化教室の仲間全ての皆様に「感謝!」のイベントでありました。

# 私たちこんな活動をしています!

## こんなこともしています。

地元で「糸井らしい事業」ということで「糸井のルーツを学ぶ」学習会を開催し、お手伝いをさせていただきました。地元のことを知っているようであまり知らない。地元のことを知ることで郷土愛が生まれ、子どもたちのところに原風景が刻み込まれ、将来は地元に戻ってきてくれることが望めるのではと期待しながらの事業です。

1回目は糸井地区の古代に思いをはせ、郷土の歴史を、2回目は地球を構成する岩石や糸井の大地を作る岩石を、3回目は「和田城や高生田城」など歴史認識を新たにしました。最後の締めくくりとして、奈良県にある糸井神社を訪ね、今後、両地域の歴史的な研究が進み、新たな交流に発展することになればうれしいです。

第5期地域ビジョン委員 高垣 潔



## 「大屋PANの学校」 スティールパンを、作って!演奏して!

2009年12月。養父市大屋町の「おおやホール」にて、スティールパンと打楽器とピアノの演奏会がありました。

私の友人の夫さんが山村誠一という、関西では知る人ぞ知るパーカッショニストで、大屋で縁あって、この演奏会を開いたのでした。

その演奏会が本当に楽しくて、「スティールパン」という楽器も初めて見聞きする人がほとんどでしたが、「前からこの楽器を演奏してみたかった。」とか、「あの山村さんという方、教えてないのかな。」とか、「おしえてほしい。」と、何人からか話がありました。みんな真剣な気持ちなので、ダメもとで、山村さんにお手紙を書かせていただきました。

そして、それからは、あれよあれよという間に2010年4月に、「大屋PANの学校」を開校することになりました。

スティールパンは、カリブ海トリニダード・トバゴという国で生まれた楽器です。

ドラム缶をハンマーで叩いてへこまして、音階も打ち出して作る、音階のある打楽器です。

学校では、毎月だいたい第3日曜日、パンの制作と演奏のグループにわかれて、先生に指導していただきます。

ドラム缶をハンマーで叩く根気のいる制作は、1年以上かかります。演奏ももうすぐ1年になりますが、体に叩き込むまでに相当時間がかかります。なかなか上達しませんが、スティールパンが、本当に魅力的な楽器で、学校のメンバーは虜になっています。でなきゃ続かないです。今は生徒数は20名程。中学生から50歳代まで、幅広いです。

シンプルにして深いスティールパン。但馬の空に響かせる日を夢見て、がんばっていこうと思います。

大屋PANの学校教頭兼庶務係 田中 今子(画家)



## OB会員からの一言

### 但馬のよさが「見える」場づくりに期待

但馬地域ビジョンは、策定時に「理念より行動中心のものにしよう」ということで、他地域よりも行動提案のボリュームが多い構成にしたことを憶えています。10年近くたって但馬地域夢会議に参加させていただいたところ、活動が継続しているだけでなく、全ての分野で活動が「見える」状態になってきているという印象を受けました。

私は景観づくりを専門としており、美しい自然や伝統ある建物などだけでなく(暮らし・活動・コミュニティ)が見える景観こそその地域らしい良い景観だと信じています。暮らしや活動の景観は、その時の賑わいに留まらず、日常生活の充実や地域への愛着・誇りの醸成にもつながります。但馬人こそ、一番の景観資源かもしれません。今後もこの但馬のよさが「見える」場を多くつくっていければ、理念だけでなく行動としてビジョンがより浸透していくと思います。

但馬地域夢21委員会委員(策定時)、第1期但馬地域ビジョン委員  
兵庫県立大学自然・環境科学研究所/兵庫県立人と自然の博物館  
赤澤 宏樹



### 但馬「食」のパワーに圧倒!

昨年、食グループのC.K.さんから連絡があり、「たべものスゴロク」&「食の旬カレンダー」の制作に首をつっこむはめになりました。助言程度ということで気軽にお受けしたのが、いつのまにか本業としてデザイン制作をするようになっていました。

どうせ作るなら楽しいものにしたいと思い、イラストや似顔絵を多用し、但馬各地の風景なども描きました。グループのみなさんにも喜んでいただきました。

この活動に参加させていただいて思ったこと。何とみなさん、精力的に活動しておられることか!スゴロク&カレンダーの取材を関係諸団体から個人さんまで幅広く行い、原稿を作り、ミーティングを重ね、内容を精査し、修正する。こういった作業を毎週のように繰り返し、こだわり、最後まで作り上げたパワーに本当におどろきました。

「食」グループだからこそ聞きたいんです。「何を食べてそんなに元気なのですかーっ!」

第1期但馬地域ビジョン委員  
正垣 亮平



## 募集

### あしたのふるさと但馬の創生をめざす「地域づくり活動応援事業」

#### お知らせ

公民協働によるキャンペーン事業を本格展開するため、地域づくり活動等を展開する団体やキーパーソンからの施策提案型住民プロデュース事業を公募し、20周年記念事業のイベントに位置付け、支援。

- 【助成対象】 地域団体、住民で構成する実行委員会 等
- 【対象団体】 但馬地域を活動基盤とする地域活動団体、各種団体で構成する実行委員会 等
- 【助成内容】 上限50万円、事業費の80% (極めて優秀な提案については全額助成)
- 【募集時期】 5月
- 【審査】 申込団体の事業内容を審査し、採択等を決定するため、1次審査及び2次審査を実施  
1次審査/6月中旬 2次審査(公開)/6月下旬

## 編集後記

東北関東大震災、お見舞い申し上げます。  
「夢テーブル委員会」には、10年前に第1~2期と4年間「癒しの郷部会」に参加。この度は事務局でお世話させていただき、不思議なご縁に感謝しながらのお仕事でした。当時、耳慣れないジオパークの話が世界に登録されるまで実現化され、積み重ねられた歳月の努力に感謝し、当時を懐かしく思い出しました。夢つうしんは、皆様のご協力で情報発信しています。今後ともホットな情報をお待ちしていますので、よろしくお願いいたします。

### ●但馬夢テーブル委員会に関するお問い合わせは下記までご連絡ください●

〒668-0025 兵庫県豊岡市幸町7-11 但馬県民局内 但馬夢テーブル委員会事務局(総務室地域企画課)

TEL:0796-26-3615 FAX:0796-24-7074 URL:<http://web.pref.hyogo.lg.jp/area/tajima/vision.html>